

学科 学年	3年	科目 分類	国語 Japanese	講義 必修	通年 2単位	学習教育 目標 1 A-E	担当	神田 朝美 KANDA Tomomi
概要	<p>文学体験を広げるだけでなく、概念的思惟による文章 論文・随筆 の読解力を鍛える。また、様々な文章から得た知識や想像による自己表現力（作文・スピーチ等）を身につける。</p> <p>前半は「笑い」、後半は「怖れ」をテーマとした文章で講義を進める。</p>							
科目目標 (到達目標)	<p>様々な文学・科学・哲学的文章に触れることで、その意味するところを解釈して自分の中に取り込み、事物に対する客観的視野を培う。その上で、自己の位置付けを行うことにより自分の進むべき方向性への認識を持ち、それをアピールする技術力・能力を養う。</p>							
教科書 器材等	<p>プリントテキスト配布。</p>							
評価の基準と 方法	<p>定期試験 + 講義内小テスト・小論文 + スピーチ + 課題作文 + 授業への姿勢</p>							
関連科目								
授業計画								
第1回	講義の進め方についての説明							
第2回	現代文 小説							
第3回	井上靖『褒女以(ほうじ)の笑い』他							
第4回								
第5回								
第6回	現代文 評論・随想							
第7回	山口昌男、志水彰 等の論文より							
第8回								
第9回	韻文 現代歌謡の中の「笑い」							
第10回	古文 『醒醉笑』より 近世の笑い話							
第11回								
第12回								
第13回	文学と評論 小説 で読んだ文章の作品論							
第14回								
第15回	定期試験							
第16回	現代文 小説							
第17回	芥川龍之介『歯車』他							
第18回								
第19回								
第20回	現代文 評論・随想							
第21回	梅原猛、J・A・グレイ 等の論文より							
第22回								
第23回	韻文 現代歌謡の中の「怖れ」							
第24回	古文 『雨月物語』より 仏教説話と近世怪談文学							
第25回								
第26回								
第27回	文学と評論 古文 で読んだ文章の作品論							
第28回								
第29回	演習 小論文							
第30回	定期試験							
オフィス アワー	火曜日（午前） 木曜日（終日）							
授業アンケート への対応								
備考								